

(1ページから続く)

白井さんは1999年に徳島文理大学薬学部を卒業。高知県内の地方の薬局で勤務した後、2001年に高知市内の薬局に転職。管理薬剤師として新店立ち上げに携わるなど経験を積んだ。

転職が訪れたのは05年。縁あって、最初に勤務した薬局の前にある地方の病院に転職することになった。病棟業務やチーム医療を実践できる病院で「薬局とは全く異なる業務で1年くらいは自ら医師に提案するようなことはできなかった」と振り返る。

入社して1年が経った頃、救命救急で病院薬剤師が果たす役割の大きさを知る出来事があった。ある日、脳梗塞を起こして意識のなくなった患者が病院に運ばれてきた。脳の血栓を溶かすt-P A治療を実施したところ、意識が回復。再び話せるようになる姿を目の当たりにした。

t-P A治療で薬剤師が担う役割は大きい。患者の体重によって薬の投与量は異なるため、その都度計算する必要がある。病院到着後40分以内に投与しなければならないという時間の制約もある。わずかな誤差で患者の生死が左右されるため、投与量は寸分の狂いも許されない。速さと正確さを実現していたのが、白井さんら薬剤師だ。

その病院で勤務した8年間で、薬剤師の職能に対する考えは大きく変わった。「薬剤師にとってのスキルは薬学的知見。チーム医療でいかに大きな存在かを学んだ」と語る。

12年、わけあって地方を離れることになり、市内の急性期病院に転職した。入社当時の業務内容は調剤が中心で、薬剤師が職能を発揮できる環境ではなかった。

入社して1カ月が経った頃、白井さんは体調不良で退職した薬局長の代わりを務めることになった。前病院で得た知識やノウハウを生かして、積極的に薬剤師業務を拡大。クリニカルパスや癌化学療法レジメンの作成など、多くの業務を薬剤師が担う体制を整えた。

5年ほど勤務すると、自分が不在でも薬剤師の業務が滞りなく回るようになった。「作り上げた」という満足感はあったが、物足りなさも感じた。「私の人生はビルド・アンド・スクラップ。経験のない精神科病院で働こうと考えた」と転職を決意し、16年に精神科病院に移った。そこで出会ったのが、いずれ大きな変身を遂げることになる中原さんだった。

白井さんは昨年、精神科病院を退職し、薬剤師の人材紹介サービスを手がけるスイッチ・エージェンシーを立ち上げた。高知県内の病院への就職や転職を希望する薬学生や薬剤師を対象に一人ひとりに合った職場を紹介する会社だ。

現在は、就職支援の事業を軌道に乗せるべく奔走している。病院の求人は多いが、県内に薬系大学がないため、紹介できる薬学生が少ない。職場見学ツアーや薬局長の経験を生かしたアフターフォローなど、独自のサービスで薬学生を呼び込みたい考えだ。薬局運営や人材育成を支援するコンサルティング

サービスも手がける。薬剤師が職能を発揮しきれる環境を各病院でつくりたいという思いからだ。社名は、かつて西洋でウィッチ(魔女)と呼ばれた薬剤師と、明かりを灯す電気のスイッチを掛け合わせてできた。薬剤師が明るいキャリアを描けるようにという思いが込められている。病院への就職や転職は専門性の高さや給与などを理由に二の足を踏む人も少なくない。白井さんは「チャレンジしたいと思う人が挑戦できる環境をつくりたい」と意気込む。将来的には、発達障害を抱える人の就職支援サービスにも事業を広げたい考えだ。



病院勤務の経験を生かし、薬剤師の就職マッチングを手がける会社を立ち上げた

「薬剤師は大きな存在」 轉身重ねチーム医療学ぶ

1分を笑うものは1分に泣く



メディセレスクール社長
児島 恵美子

こんにちは。メディセレのしゃっちゃん、児島恵美子です。

今年の節分は2月2日でしたね。124年ぶりに節分が2日になったのは、たった1分のためでした。季節の分け目である立春の前日が節分ですが、地球が太陽を1周する時間はぴったり365日ではなく、うるう年で4年に1回1日分を補正してもずれが生じるため、今年の立春は3日の23時59分になりました。その影響で前日の2日が節分となったのです。1分遅く4日0時だったら、節分は今までどおり3日でした。この1分の奇跡！驚きと楽しさを運んできてくれました。

国試予備校の現場から

薬剤師国家試験では1日目の午前中に必須問題というCBTを彷彿とさせる出題があります。必須問題は90問を90分で解きます。そう、1問1分。全体の中で必須問題の難易度は低いため、ここでどれだけ点数を稼げるのが国家試験の可否を分けます。

日常生活のスキマ時間をいかにうまく使うかも、国家試験の可否に影響します。1分を笑うものは1分に泣かされます。たった1分で歴史が変わり、たった1分で人生が変わる。時間だけが全ての人に平等に与えられるものだから。

今回の節分は、固定観念からの脱却も教えてくれました。誰もが節分は2月3日と思い込んでいました。このような思い込みが時に落とし穴になりま

す。思わぬ新型コロナウイルス感染症の拡大で固定観念を捨てろと言われた気がしましたが、まだ、足りないのでしょうか。固定観念を捨てて頭を柔軟にしないと今の時代を生き抜けないという、啓示のように思いました。

この時代に生まれたことへの感謝と面白さも感じました。この時代に生まれなかったら、2月2日に節分が変わる驚きの体験をしなかったのですから。長生きの鬼さんもびっくりですよ。え？今年は1日早い？鬼のパンツ履くまでちょっと待って！って。

共に変化を楽しめる人になりましょう。どんな状況も受け入れ、そこに興味を持ち、楽しむ方法を見つけた人が時代に乗ることができ、生き抜けるのだと思います。

薬学生のための求人情報サイト

ファーネット2021&2022&2023

プレOPEN中!
先行登録受付



病院求人件数

ナンバーワン!

全国の病院・薬局を300件以上掲載!

<https://www.pha-net.jp/>

ファーネット

検索

今すぐ登録!